

1 用語について

(1) 死因

死因分類については昭和54年から第9回修正国際分類（ICD-9）、平成7年から第10回修正国際疾病分類（ICD-10）が用いられています。そのため、本書で用いた統計数値のうち昭和50年及び昭和60年の数値のうち、現在の数値と正確な比較ができないものは、図表等に注釈があります。

(2) 受診率（%）

本書では、以下の2種類を使用しています。

なお特に標記のあるもの以外は、①を使用しています。

$$\text{① } \frac{\text{受診者数}}{\text{対象者数}} \times 100 \quad \text{② } \frac{\text{受診者数}}{\text{推計人口 (H22.4.1 現在)}} \times 100$$

(3) 要精検率（%）

$$\frac{\text{要精検者数}}{\text{受診者数}} \times 100$$

(4) 精検受診率（%）

$$\frac{\text{精密検査受診者数}}{\text{要精検者数}} \times 100$$

(5) がん発見率（受診者10万対）

$$\frac{\text{がんであった者}}{\text{受診者数}} \times 100, 000$$

(6) 陽性反応適中度（%）

$$\frac{\text{がんであった者}}{\text{精密検査受診者数}} \times 100$$

* その他の注意が必要な用語等は、図表等に注釈があります。

2 本書で用いた比率の端数処理について

原則として小数第2位まで算出し、四捨五入により小数第1位まで表記しています。

3 統計表の表章記号について

数値なし	—
数値がありえない場合	•
数値が微少の場合（0.05未満）	0.0